

# 道南に生きる100年企業 株式会社松本組

渡島と松山を結ぶ重要路線国道227号の新中山トンネル



新中山トンネルの貫通時に岩盤を掘削するブームヘッダー

土木・建築の総合建設業、松本組は1926(大正15)年に創業してから今年3月に100周年を迎えた。高い技術力と提案力を生かしてトンネル工事や港湾整備など重要な社会基盤整備で多数の施工実績を有する。1世紀の節目を迎え、大越雄司社長に今後の事業展望や地域貢献への思いを聞いた。(聞き手:営業局・児玉匡史)

## 函館のまちとともに歩んだ百年、そして次の未来へ

「創業100周年の節目を迎えました。社長を始め社員の皆さんはどのような気持ちで迎えていますか?」

「100年という節目は大きな誇りであると同時に、次の100年に向けた責任の重さも感じています。これまで事業を継続することができたのは、発注者様、協力会社様、地域の皆様、そして歴代の役員員のたゆまぬ努力と献身の賜物です。心より感謝を申し上げます。それは社員も同じ思いだと思います。」

「函館道南の主要な社会基盤整備を手掛ける老舗建設会社として大切にしてきた企業理念は何ですか?」

「数多くの試練に直面するなかでも長きにわたり事業を続けてこられたのは「信頼を積み重ね地域に密着した形で企業繁栄の道を切り拓く」という創業者の精神を世代を超えて守り続けてきたからだと思います。」

「数多くある施工実績のうち地域に知ってほしい事例を教えてください。」

「一つは、国道227号の新中山トンネル

(781頁)工事(令和3年に施工、同5年に全線開通)です。旧中山トンネルも昭和32年に弊社が施工しました。当時は社運をかけた大工事だったとの記録があります。約60年後、再度施工に携わることができたことは施工者として感慨深いものがあります。」

「もう一つは、函館港若松地区岸壁工事(平成29年)です。大型クルーズ船受け入れ強化のため、函館観光の中心地に近い若松地区での岸壁工事です。令和5年、このクルーズ船岸壁の完成により大型クルーズ船の寄港回数が激増し、地域経済の活性化が図られていることは大変うれしいです。」



大型クルーズ船の接岸が可能になった函館港若松地区岸壁工事

「地域の信頼を得るに至った背景には企業努力の積み重ねがあったと聞きます。お陰様で一定の評価をいただいておりますが、それは日々、現場で努力を怠らない社員のおかげです。当社は建設産業の将来を支える担い手の確保と、建設技術者の処遇改善を目的として「職人いきいき宣言」の取り組みを進めています。一方、業界全体が技術者の高齢化、若手入職者の減少といった人手不足問題を抱えています。そのため一少人数でも回せる仕組みづくりも急務です。クラウド施工管理といったデジタル化への体制づく

りが大事になってくると感じています。」

「地域の防災活動には今後も積極的に取り組んでいきたいです。特に災害発生時等において応急復旧体制の強化、避難場所の確保といった支援活動がスピード感をもって行える体制づくりを図っていきます。」

「今後に向けてどんな建設会社でありたいと考えますか?」

「われわれは「一かたち」を作ることが仕事です。しかし本当に築き上げてきたものは道路・構造物だけではなく、地域の安全・安心、人々の暮らしを支える社会基盤、そして何より信頼という目に見えない財産こそが最大の資産です。その信頼を次の世代へしっかりと引き継いでいきたいです。」



新年の親睦行事で地域貢献への意を新たに社員ら



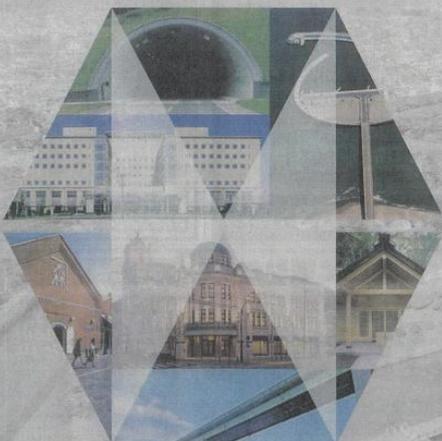
株式会社 松本組  
代表取締役社長  
大越 雄司

【本社】  
函館市吉川町4番30号  
☎0138-42-7131



監企画・制作 函館新聞社 営業局

### 夢と未来をカタチに



# 100th ANNIVERSARY

おかげさまで100周年  
1926-2026

## To the future

株式会社 登寿ホールディングスグループ



建設の総合コーディネーター

# 株式会社 松本組

本社 / 〒040-0077 北海道函館市吉川町4番30号  
TEL.0138-42-7131

札幌支店 / 〒001-0014 北海道札幌市北区北14条西3丁目2番12号 寿ビル3階  
TEL.011-757-8181

月形本店 / 〒061-0511 北海道樺戸郡月形町字階桑町1516番地1  
TEL.0126-53-2011